(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和4年6月24日

愛知県知事殿

### 提出者

住 所 名古屋市中区錦2丁目20番15号 氏 名 鹿島建設株式会社中部支店 専務執行役員支店長 片山 豊 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 052-307-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	鹿島建設株式会社 中部支店
事	業場の所在地	名古屋市中区錦2丁目20番15号
計	画 期 間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
当記	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	06 総合工事業
	②事業の規模	元請完成工事高:2, 150, 230万円
	③ 従 業 員 数	596名
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	「別紙①産業廃棄物の一連の処理工程」のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業	<b>業廃棄物の処理に係る管</b>	理体制に関する事項		
	(管理体制図)			
	「別紙② 管理体制	図」のとおり		
産業	<b>検察棄物の排出の抑制に</b>	関する事項		
		【前年度(令和3年度	)実績】別紙③のとおり	
		産業廃棄物の種類		
		排 出 量	t	t
	① 現状	(メーカーへの協力 ・工法変更(仮設・オ について発注者と協	設備機器等の梱包材の削 力要請 < は 設) 設計に組込まれてい	いない場合は以下の事項
		【目標】別紙④のとお	ii h	
		産業廃棄物の種類		
		排 出 量	t	t
	② 計画	(今後実施する予定の・前年度の取組を継続	* ', '	
産業	<b>業廃棄物の分別に関する</b>	事項		
	①現状	・施工段階で現場状況 コンガラ・あすがら	を棄物の種類及び分別に関記に応じて以下を実施 カ・木くず・金属くず・ほ カ・廃蛍光管・その他	
	②計画	(今後分別する予定の ・前年度の取組を計画	)産業廃棄物の種類及び5 画	分別に関する取組)

自	ら行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項		
		【前年度(令和3年度	)実績】別紙③のとおり	
		産業廃棄物の種類		
	① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した ・特になし	ご取組)	
		【目標】別紙④のとま	:i9	
		産業廃棄物の種類		
	② 計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の・特になし	つ取組)	
		(Ln rm) - 111 L		
	ら行う産業廃棄物の中間 [			
		【則年度(令和3年度	) 実績】別紙③のとおり 	
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した ・特になし	と取組)	
		【目標】 別紙④のと	<b>ニ</b> おり	
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	② 計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の・特になし	D取組)	

自ら行う産業廃棄物の埋立	立処分又は海洋投入処分に関す	つる事項	
	【前年度(令和3年度)実績	賃】別紙③のとおり	
	産業廃棄物の種類		
① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし	)	
	【目標】別紙④のとおり		
	産業廃棄物の種類		
② 計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし	)	
産業廃棄物の処理の委託	7 関わる東西		
座来既来初07处理07安元(	□関リる事項 ■ ■【前年度(令和3年度)実績	E】 日19年ののトナンカ	
	【刊牛及(TANS牛及)关膊		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
① 現状	認定熱回収業者への 処理 委託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託処理業者に対し減量 処理委託業者選定の参考	化、再資源化率の調	査を行い

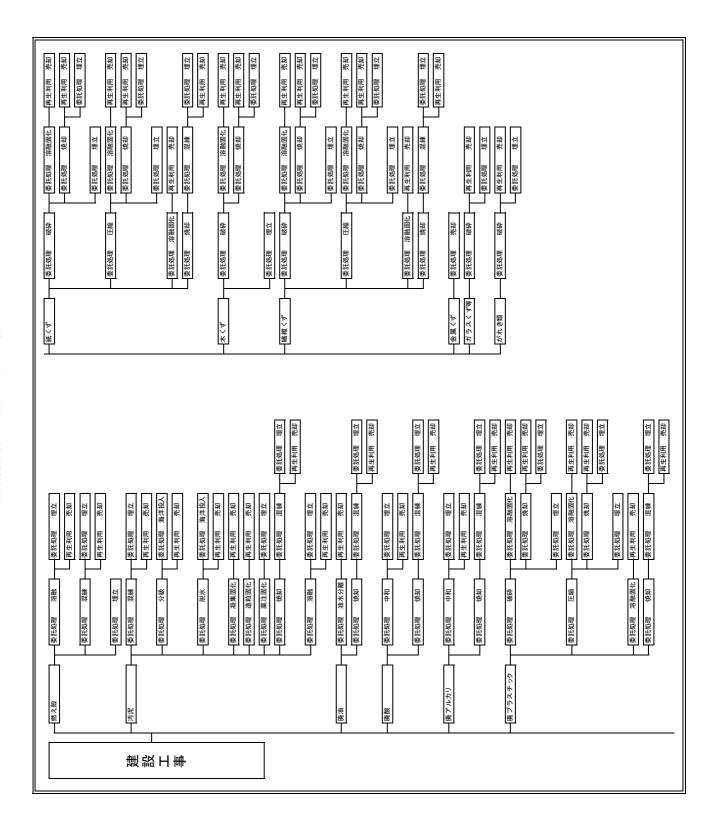
# (第5面)

		【目標】別紙④のとお	ŋ	
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	② 計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の ・前年度の取組を継続		
*3	事務処理欄			

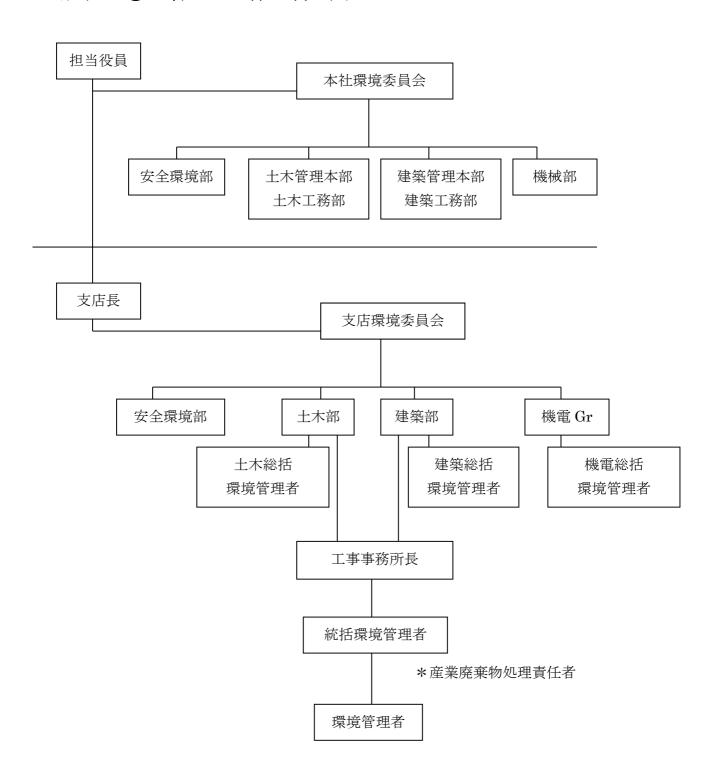
#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現行行っている事業に関する事項 産業廃棄物の一連の処理の工程



# 別紙 ② 管 理 体 制 図



【前年度(令和3年度)実績】

°
プダウンリストから選択してください
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
ב
選択
Š
7
ス
ゾ
Ž.
ř Ú
<u>プ</u>
<b>夏</b> (ナ
種類
9
※廃棄物の種類はドロップ
熈
Х

別統③

	廃棄物の種類	汚泥	がれき類	ガラス・コンクリー ト・陶磁器くず	廃プラスチッ ク	金属<ず	紙くず	本〈ず	繊維くず	廃油	鉱さい	混合廃棄物
	名称(任意の名称を記入してください)											
$\Theta$	(1)曹田排	7,712.6	18,735.7	700.2	1.00.1	4.0	0.7	859.7	7.8	9:0	438.1	1,205
0	自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0
<u>@</u>	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行った量(t)	0	0	0	0	0	0	)			)	0
(D)	自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	,	0	0
$\odot$	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	処理委託した全量(t)	7,712.6	18,735.7	700.2	160.1	4.0	0.7	859.7	7.8	9:0	438.1	1,205
	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	1,450.9	8,458.0	153.9	3.7	0	0	457.9	0	0	420.5	25
(1)	再生利用業者への処理委託量(t)	7,709.5	9,413.7	474.1	22.2	4.0	0.7	854.4	7.8	0	0	1,129
<b>©</b>	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	,	0	0
<b>(4)</b>	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	)	0		0	0

※廃棄物の種類はドロップダウンリストから選択してください。

【今年度(令和4年度)計画】

別紙(4)

	廃棄物の種類	污泥	がれき類	カラス・コンクリート・ 価核 器くず	廃プラスチッ ク	金属くず	紙くず	<b>₩</b> <b>\</b>	繊維くず	廃油	鉱みい	混合廃棄
_	名称(任意の名称を記入してください)											
$\overline{\bigcirc}$	(t)曹田排	6,941.3	16,862.1	630.1	144.0	3.6	0.6	773.7	7.0	0.5	394.2	
0	自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	8	J			
 (c)	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行う量(t)	0	0	0	0	0	0		0			
(D)	自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	)	)	)	(
<b>©</b>	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	)	)	)	(
(2)	(1) 曹 ラ タ 全 垂 で が 通 番 近 か 重 を 近 本 受 重 で が 直 か す で す で す で す で す で す で す で す で す で す	6,941.3	16,862.1	630.1	144.0	3.6	9'0	7.8.77	0.7	9:0	394.2	
	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	1,305.8	7,612.2	138.5	3.3	0	0	412.1	0	0	378.4	
(1)	再生利用業者への処理委託量(t)	6,941.3	16,862.1	441.0	72.0	3.6	1.0	773.7	0	0	0	
(13)	認定熱回収業者への処理委託量()	0	0	0	0	0	0	0	0	)	)	(
<b>(4)</b>	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	)	)	)	

1,085

1,085

23

434